

平成28年8月25日

平成28年8月20日からの大雨による 出水の概要（速報版）をとりまとめました

旭川開発建設部では、平成28年8月20日から的大雨及び8月23日台風9号による出水の概要（速報版）について、別紙のとおりまとめましたので、お知らせします。

今般、旭川開発建設部管内では、停滞する前線や台風の影響により流域各地で激しい雨が降りました。このため、当部が管理する河川では、石狩川、美瑛川、名寄川で「氾濫危険水位」を超える出水となりました。

しかしながら、当部がこれまで進めてきた河川整備や洪水調節施設によって出水時の水位低下が図られたほか、排水ポンプ車や直轄排水機場を稼働させ、内水氾濫被害の防止・軽減を図ることができました。

※ 本速報に記載されている数値や図表は平成28年8月25日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

【問合せ先】	国土交通省	北海道開発局	旭川開発建設部
治水課	課長	いっぽうし たかみつ 一法師 隆充	（電話番号 0166-32-4234 ダイヤルイン）
	流域計画官	もりた ともつぐ 森田 共胤	（電話番号 0166-32-1119 ダイヤルイン）

平成28年8月20日からの大雨による出水の概要 (石狩川上流・天塩川上流)

【速報版】

国土交通省 北海道開発局

旭川開発建設部

平成28年8月25日

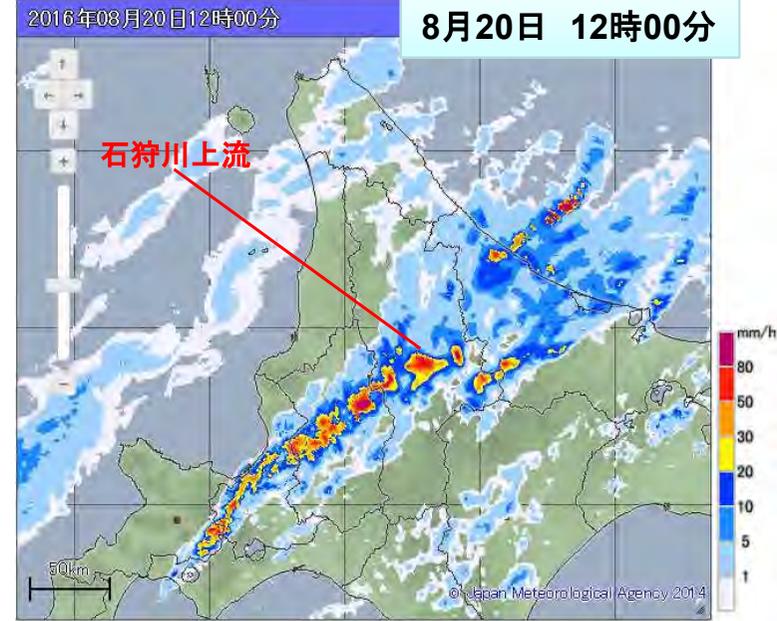
(1) 石狩川上流関係

平成28年8月20日から大雨による出水の概要(石狩川上流)

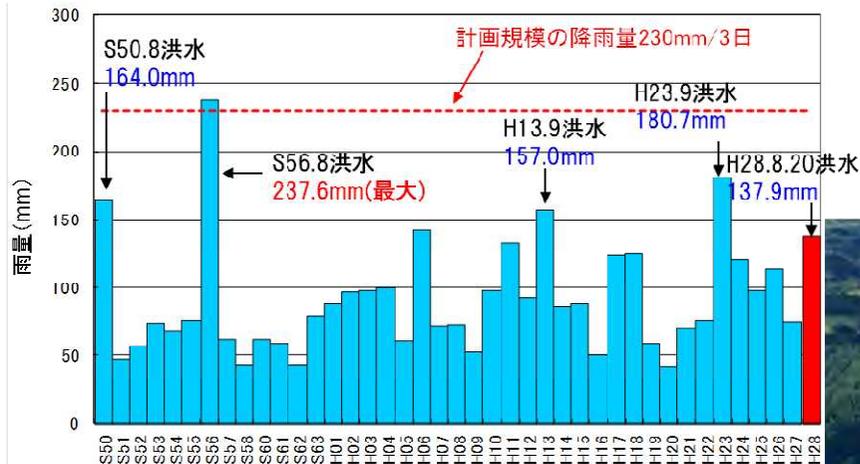
上川管内では、8月20日から前線の停滞に伴い各地で強い雨が降り続き、8月23日明け方からは、台風9号の影響により特に美瑛川流域に強い雨が降り、各地点で、観測史上1位を更新しました。

- ・1時間降水量(日最大値)が、美瑛地点で45.5mm
- ・24時間降水量(日最大値)が、上川地点で146.0mm、東川地点で143.5mm、東神楽地点で125.5mm、白金地点で日最大値が191.0mm(23日)

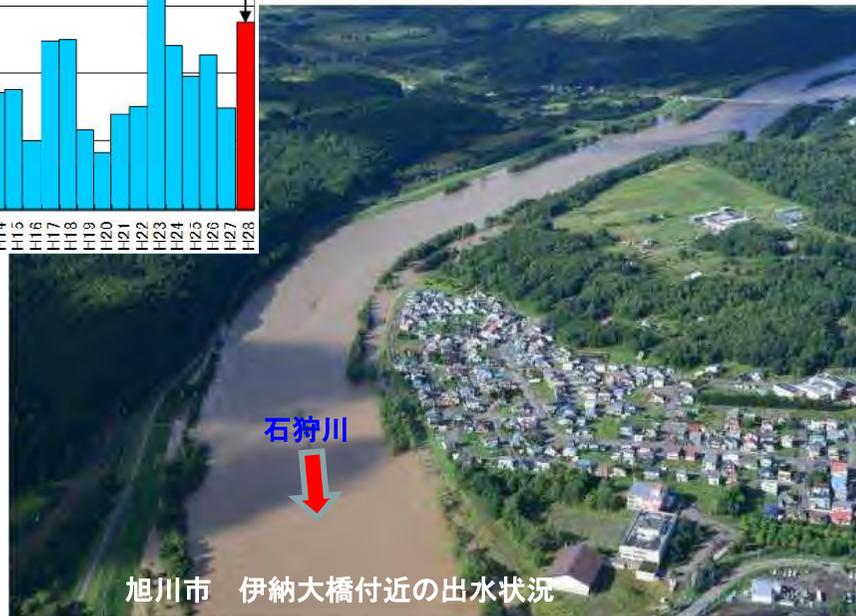
旭川開発建設部では、大雪ダム、忠別ダムで防災操作を行ったほか、旭川市街地の upstream で石狩川に洪水を分流する牛朱別川分水路により、牛朱別川の洪水流量の低減を行いました。また、排水ポンプ車(旭川市、鷹栖町、美瑛町に出動)において内水排除を実施しました。



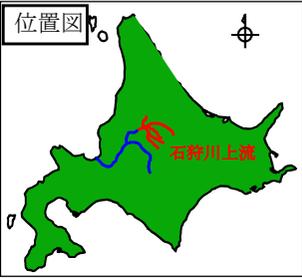
旭川地方气象台 提供



石狩川上流(伊納)における
年最大流域平均雨量



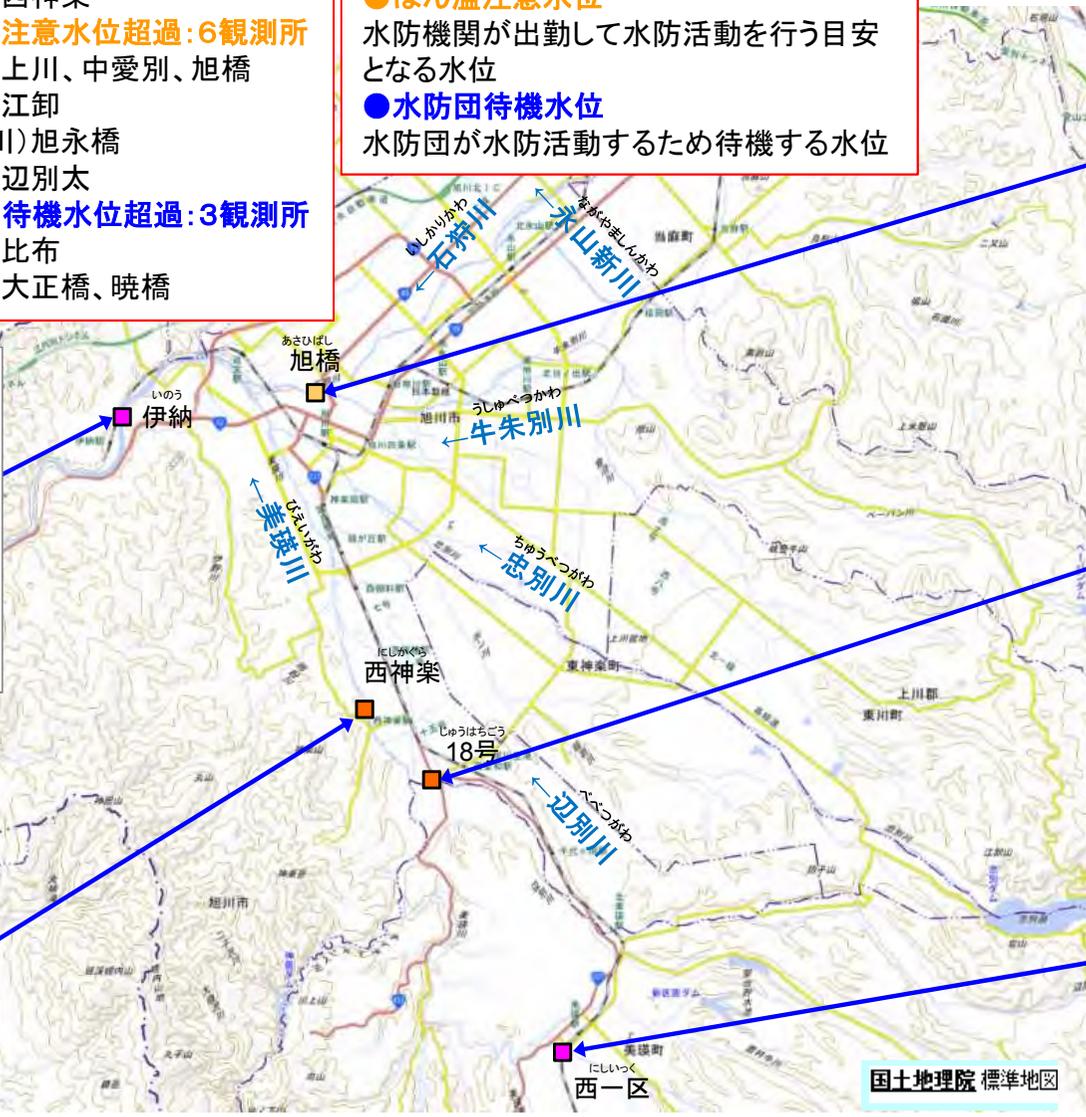
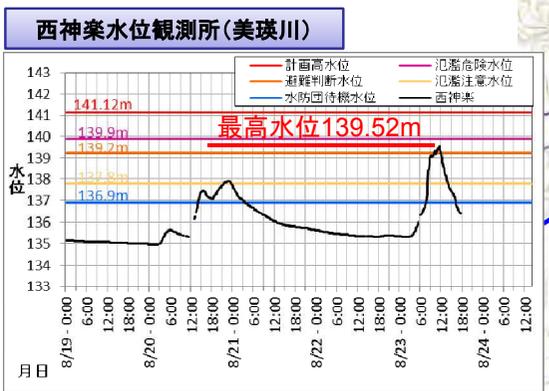
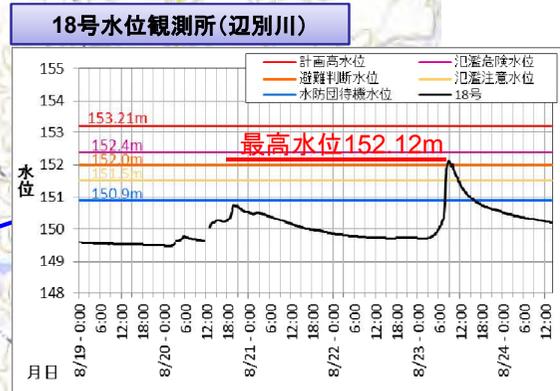
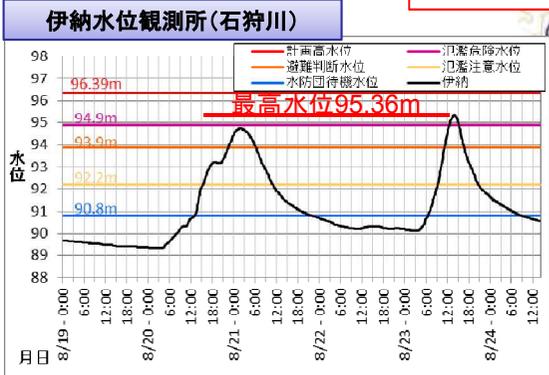
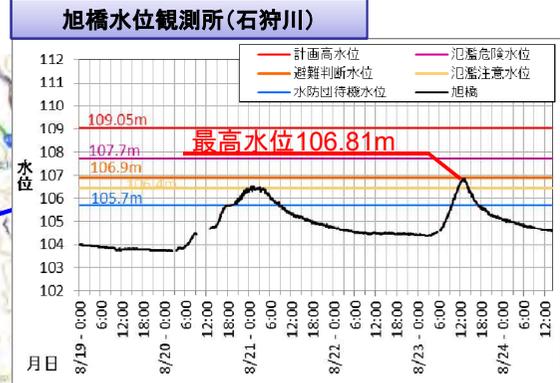
平成28年8月20日からの大雨による出水の概要(石狩川上流 河川水位状況)



- 凡例**
- : はん濫危険水位超過
 - : 避難判断水位超過
 - : はん濫注意水位超過

- 【基準水位を超過した観測所】**
- **はん濫危険水位超過: 2観測所**
(石狩川)伊納
(美瑛川)西一区
 - **避難判断水位超過: 2観測所**
(辺別川)18号
(美瑛川)西神楽
 - **はん濫注意水位超過: 6観測所**
(石狩川)上川、中愛別、旭橋
(忠別川)江卸
(牛朱別川)旭永橋
(美瑛川)辺別太
 - **水防団待機水位超過: 3観測所**
(石狩川)比布
(忠別川)大正橋、暁橋

- **はん濫危険水位**
洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫の起こるおそれのある水位
- **避難判断水位**
避難準備情報の判断、避難所の開設、要配慮者の避難判断の目安となる水位
- **はん濫注意水位**
水防機関が出勤して水防活動を行う目安となる水位
- **水防団待機水位**
水防団が水防活動するため待機する水位



平成28年8月20日からの大雨による出水の概要(石狩川上流 出水状況)

平成28年8月20日からの大雨により、石狩川上流管内(旭川市、愛別町、美瑛町)では約40haの浸水被害が発生しました。
(開発局調べ)



北野十線排水樋門(排水作業)



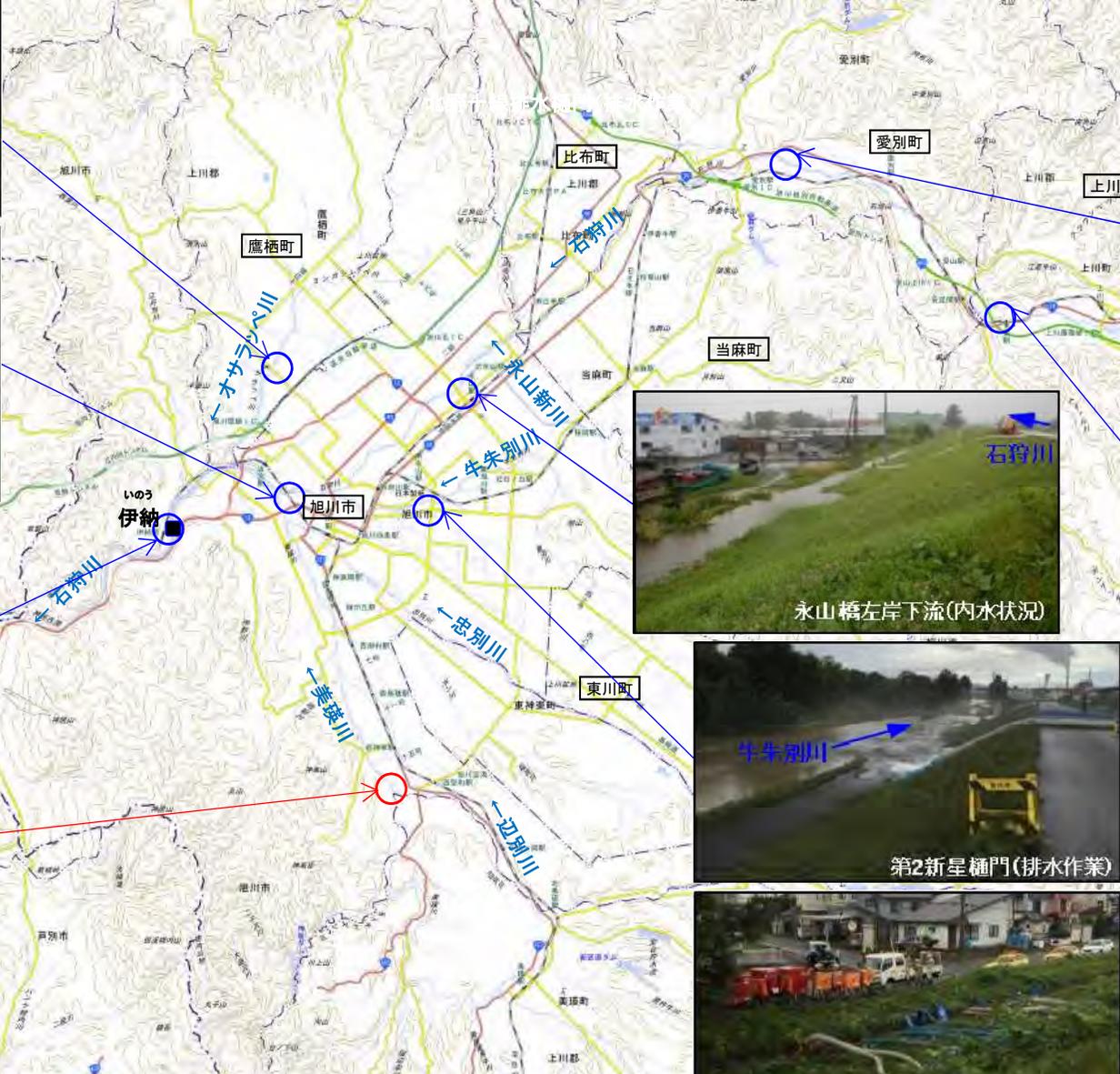
大町樋門(排水作業)



石狩川
伊納大橋上流地点



辺別川
美瑛川
美瑛川と辺別川の合流点(内水氾濫)



位置図



石狩川
バンケ
ムナイ川
バンケムナイ川合流点
(内水氾濫)



石狩川
永山橋左岸下流(内水状況)



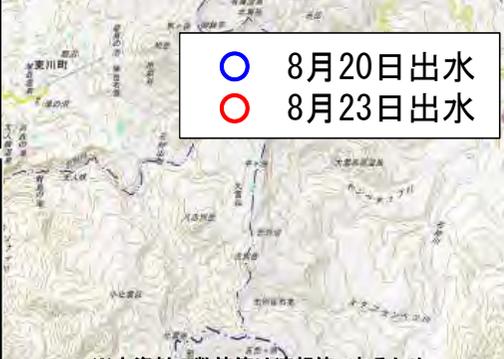
石狩川
江寿牛吊り橋(被災状況)



石狩川
牛朱別川
第2新星樋門(排水作業)



第2新星樋門(排水作業)



- 8月20日出水
- 8月23日出水

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

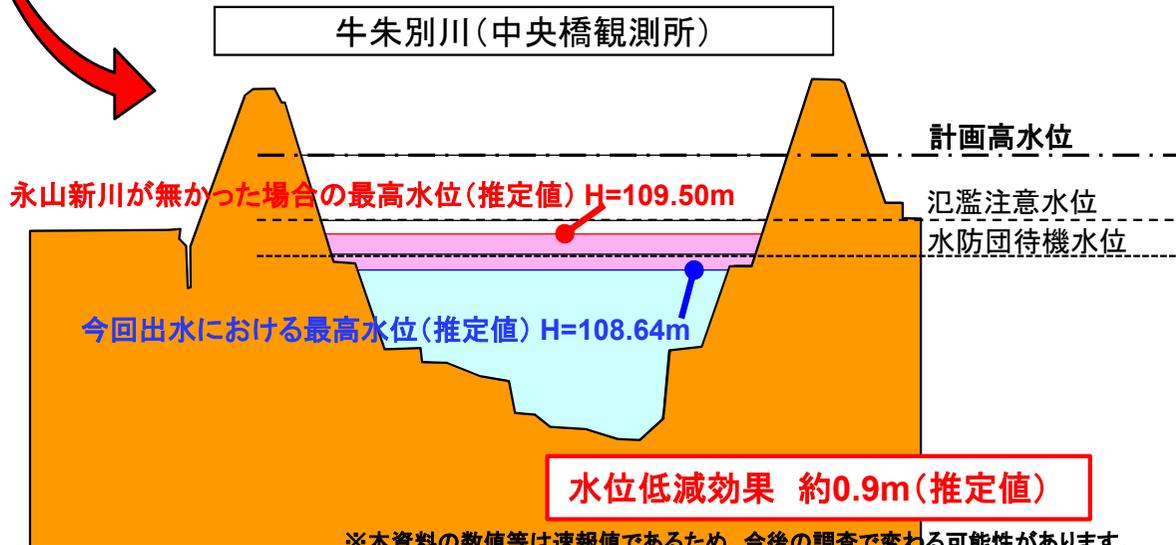
治水事業の効果② 分水路整備が効果を発揮(北海道 牛朱別川分水路)(国管理)

牛朱別川分水路(永山新川)は、下流市街地の洪水被害軽減を目的に平成16年に完成しています。
平成28年8月20日からの大雨では、牛朱別川分水路(永山新川)が効果を発揮し、牛朱別川(中央橋)で約0.9mの水位低減効果があったと推測されます。仮に牛朱別川分水路(永山新川)が整備されていなければ、水防団待機水位を上回ったと推測されます。

位置図



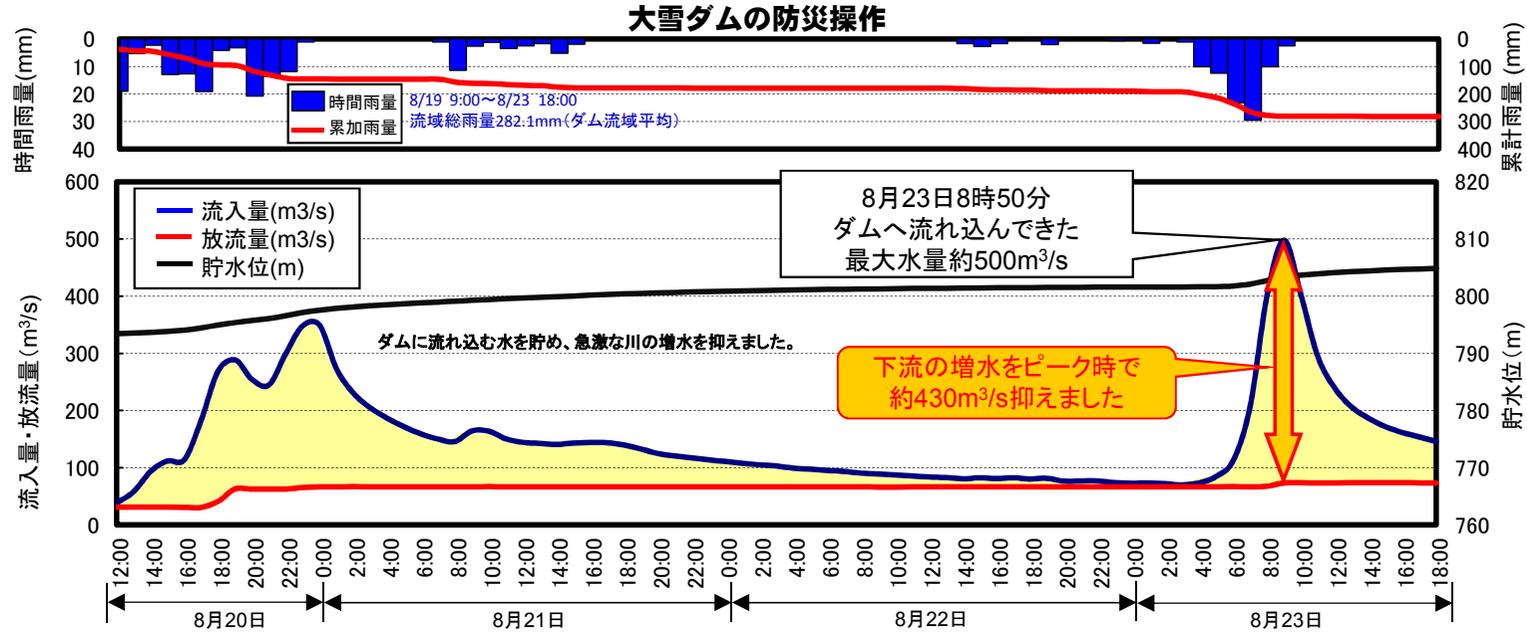
永山新川による水位低減効果



治水事業の効果③ ダム整備が効果を発揮(北海道 大雪ダム) (国管理)

たいせつ

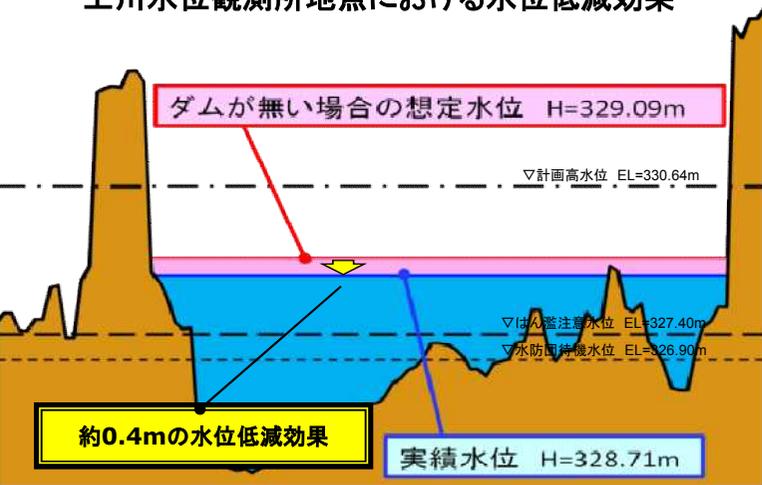
- 平成28年8月台風第9号に伴う降雨により、大雪ダムにおいては、既往1番目の流入量を観測。
- 大雪ダムの防災操作によって、下流河川の水位低減を図り、下流の上川町(上川水位観測所)では、水位を約0.4m低減させる効果があったものと推測されます。



上川水位観測所地点における水位低減効果

大雪ダム貯水状況

石狩川上川水位観測所付近



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。 8

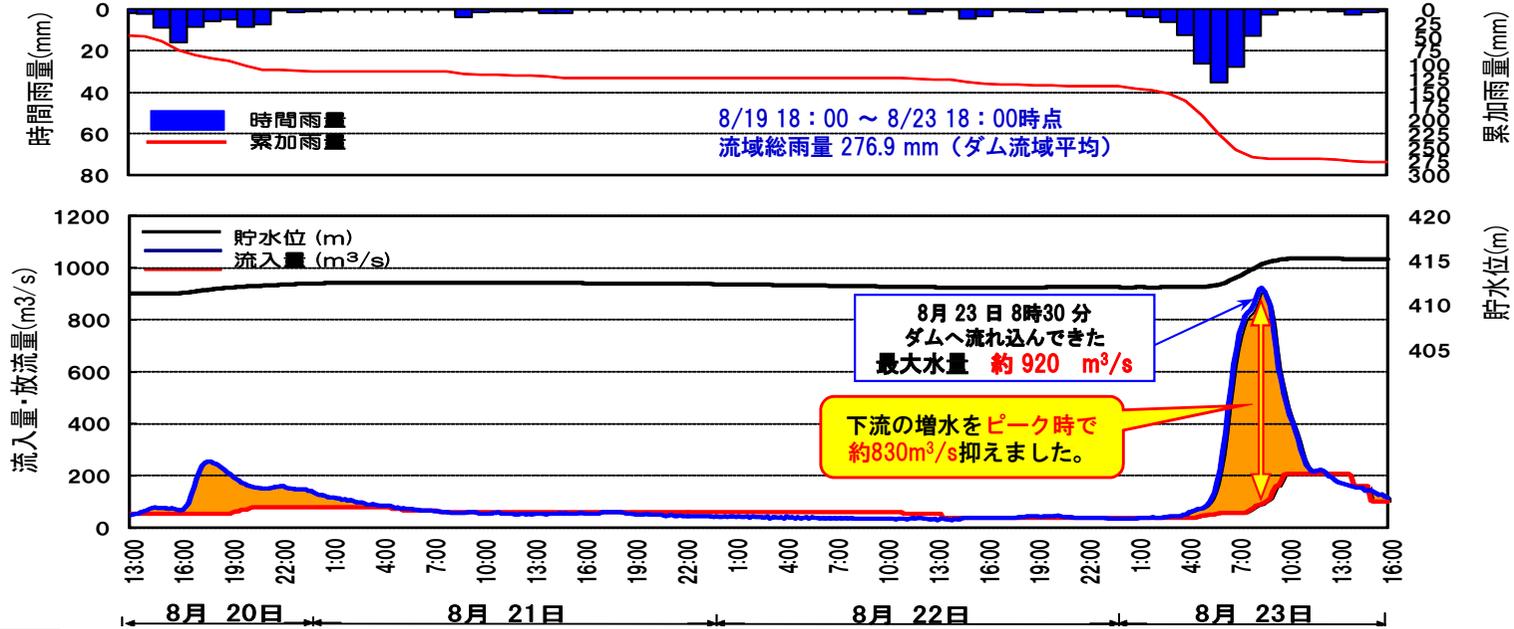
治水事業の効果④ ダム整備が効果を発揮(北海道 忠別ダム)(国管理)

- 平成28年8月台風第9号に伴う降雨により、忠別ダムにおいては、既往1番目の流入量を観測。
- 忠別ダムの防災操作によって、下流河川の水位低減を図り、下流の東川町(暁橋水位観測所)では、水位を約0.9m低減させる効果があったものと推測されます。
- 仮にダムが整備されていなければ、避難判断水位※を上回る出水となったことが想定されます。

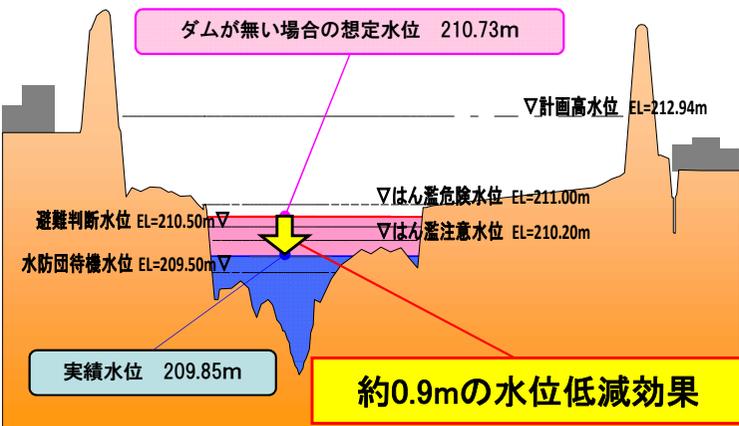
※ 避難判断水位: 住民の避難判断の参考となる水位。



忠別ダムの防災操作



暁橋水位観測所地点における水位低減効果



忠別ダム貯水状況



暁橋水位観測所付近



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

旭川開発建設部の取組（浸水被害軽減のための活動状況（内水排除））

平成28年8月20日から大雨及び、8月23日台風9号による出水により、浸水被害箇所へ排水ポンプ車(6台)を派遣し、内水排除を実施しました。



北野十線排水樋門(排水作業)



北野十線排水樋門(排水作業)



第2新星樋門(排水作業)



第2新星樋門(排水作業)



大町樋門(排水作業)



大町樋門(排水作業)



辺別川左岸第3樋門(排水作業)



辺別川左岸第3樋門(排水作業)



美瑛第二排水樋門(排水作業)

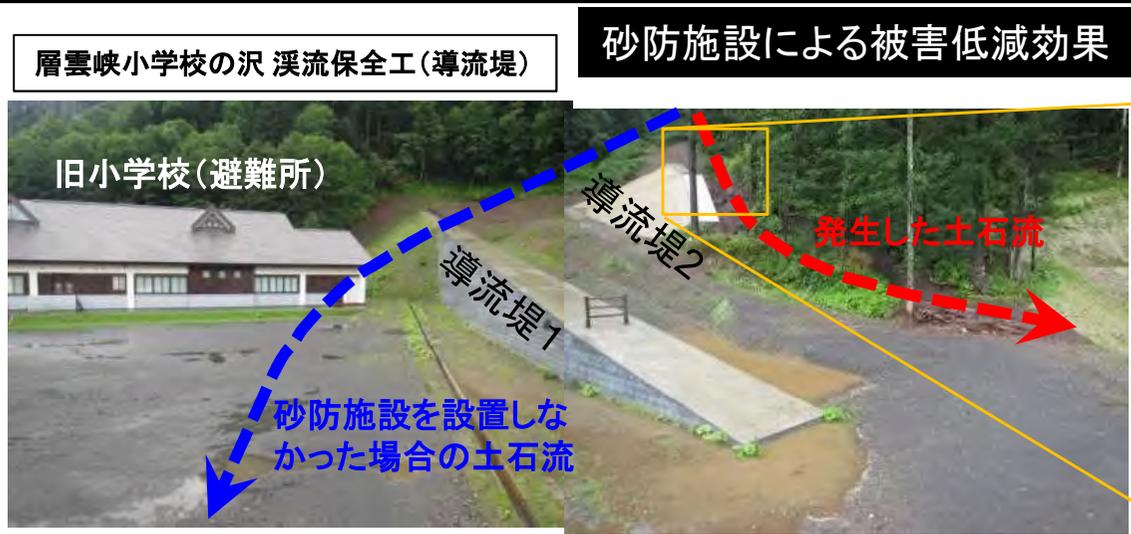
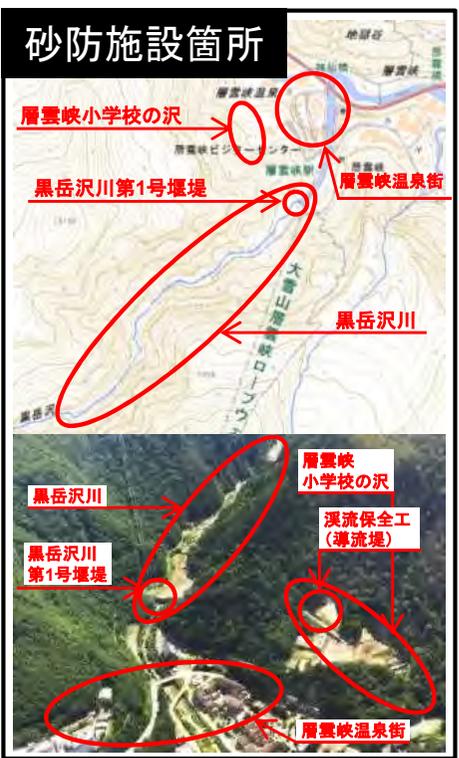


美瑛第二排水樋門(排水作業)

※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。 10

砂防事業の効果 砂防施設が効果を発揮(北海道 層雲峡小学校の沢・黒岳沢川地点)(国管理)

石狩川上流層雲峡地区は、急峻で脆弱な地形が多く、黒岳沢川や層雲峡小学校の沢など土石流危険渓流が存在し、豪雨による土石流の発生や土砂流入による土砂災害の防止・軽減を目的に砂防施設整備を順次進めています。今回の土石流発生では砂防施設が効果を発揮し、仮に砂防施設が整備されていなかった場合、層雲峡温泉街や地区唯一の避難所である旧小学校が被災したと想定されます。



(2) 天塩川上流関係

平成28年8月20日からの大雨による出水の概要(天塩川上流)

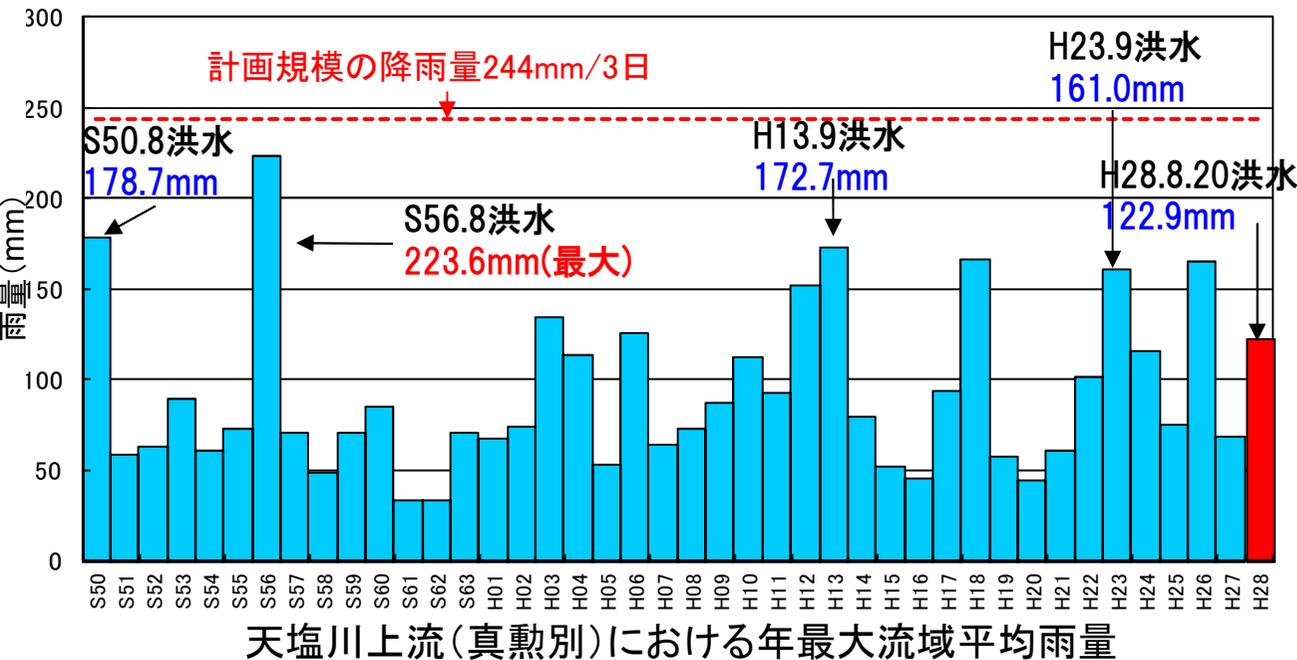
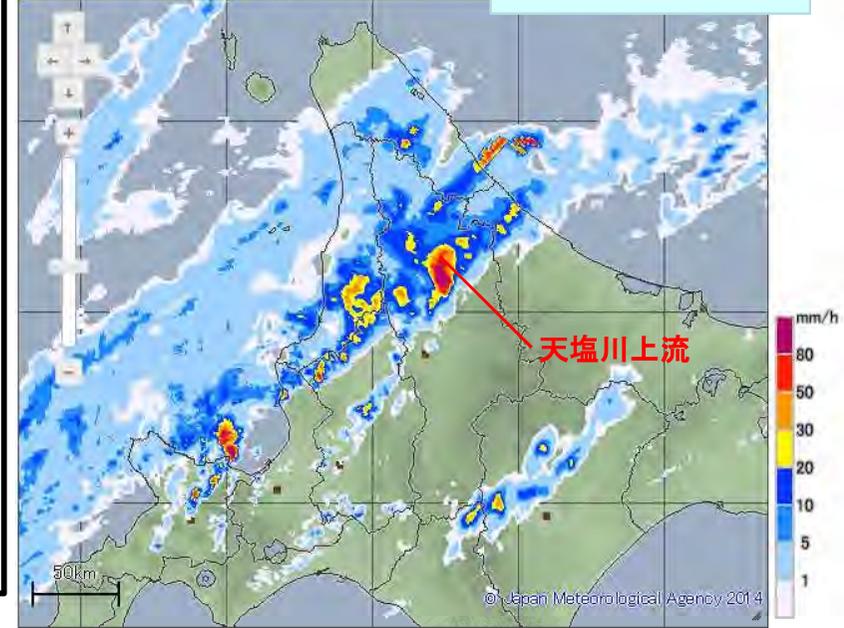
前線の停滞に伴い上川管内では8月20日に各地で大雨となり、3時間降水量の日最大値が、下川地点で69.5mm、士別地点で93.0mmとなり、観測史上1位を更新しました。

また、河川の水位上昇に伴い、士別市と名寄市で避難指示が発令されました。

旭川開発建設部では、岩尾内ダムで防災操作を行ったほか、豊栄排水機場及び救急内水排水機場(内淵、旭東、美深9線及び音威子府)並びに、排水ポンプ車(士別市、名寄市及び、下川町に出動)において内水排除を実施しました。

2016年08月20日09時00分

8月20日 9時00分

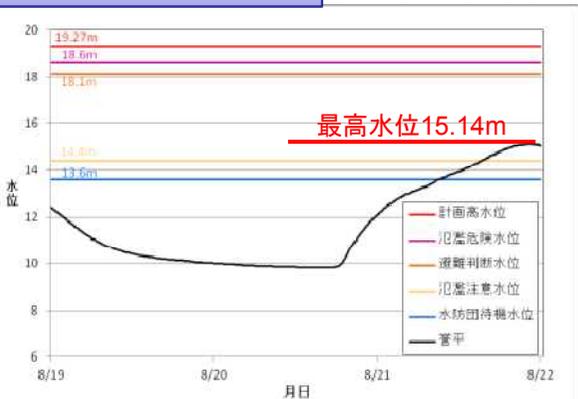


名寄市 幕別橋付近の出水状況

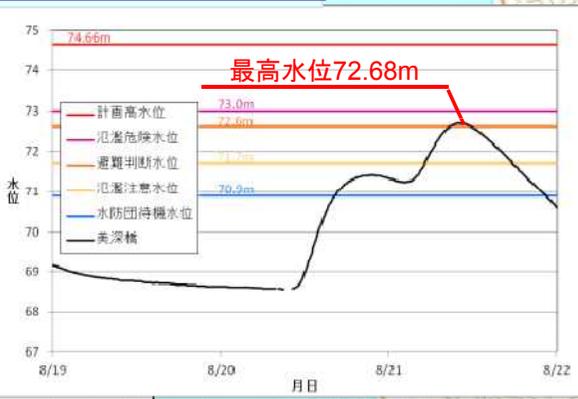
※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。13

平成28年8月20日からの大雨による出水の概要(天塩川上流 河川水位の状況)

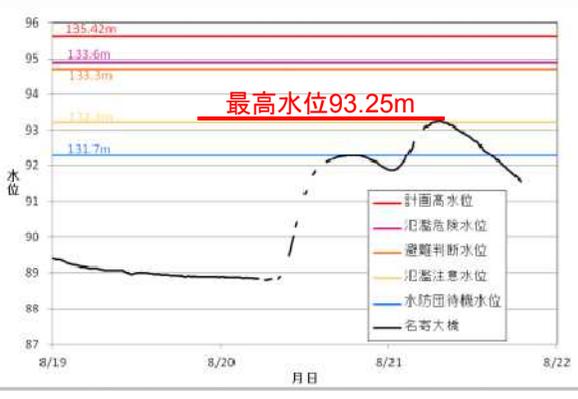
ほんびら
菅平水位観測所(天塩川)



びふかばし
美深橋水位観測所(天塩川)



名寄大橋水位観測所(天塩川)



- 【基準水位を超過した観測所】
- はん濫危険水位超過: 1観測所 (名寄川) 真敷別
 - 避難判断水位超過: 2観測所 (天塩川) 九十九橋、美深橋
 - はん濫注意水位超過: 6観測所 (天塩川) 名寄大橋、恩根内、茨内、菅平 (名寄川) 下川 (風連別川) 北興橋
 - 水防団待機水位超過: 1観測所 (天塩川) 西多寄

- はん濫危険水位
洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫の起こるおそれのある水位
- 避難判断水位
避難準備情報の判断、避難所の開設、要配慮者の避難判断の目安となる水位
- はん濫注意水位
水防機関が出動して水防活動を行う目安となる水位
- 水防団待機水位
水防団が水防活動するため待機する水位

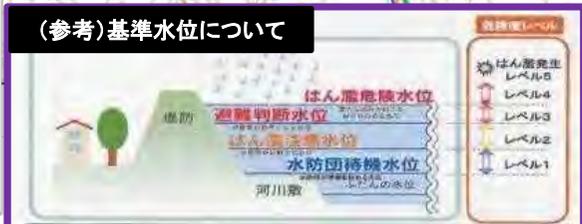
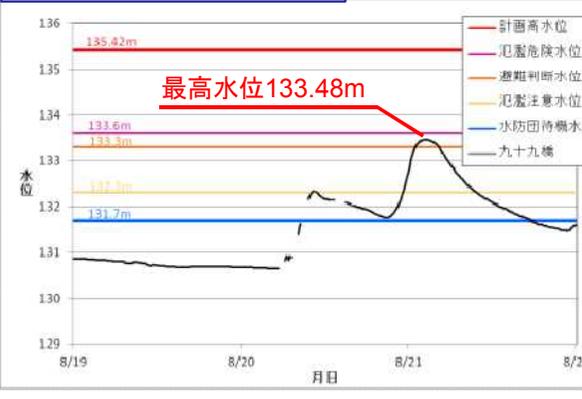


- 凡例
- :はん濫危険水位超過
 - :避難判断水位超過
 - :はん濫注意水位超過

まくんべつ
真敷別水位観測所(名寄川)

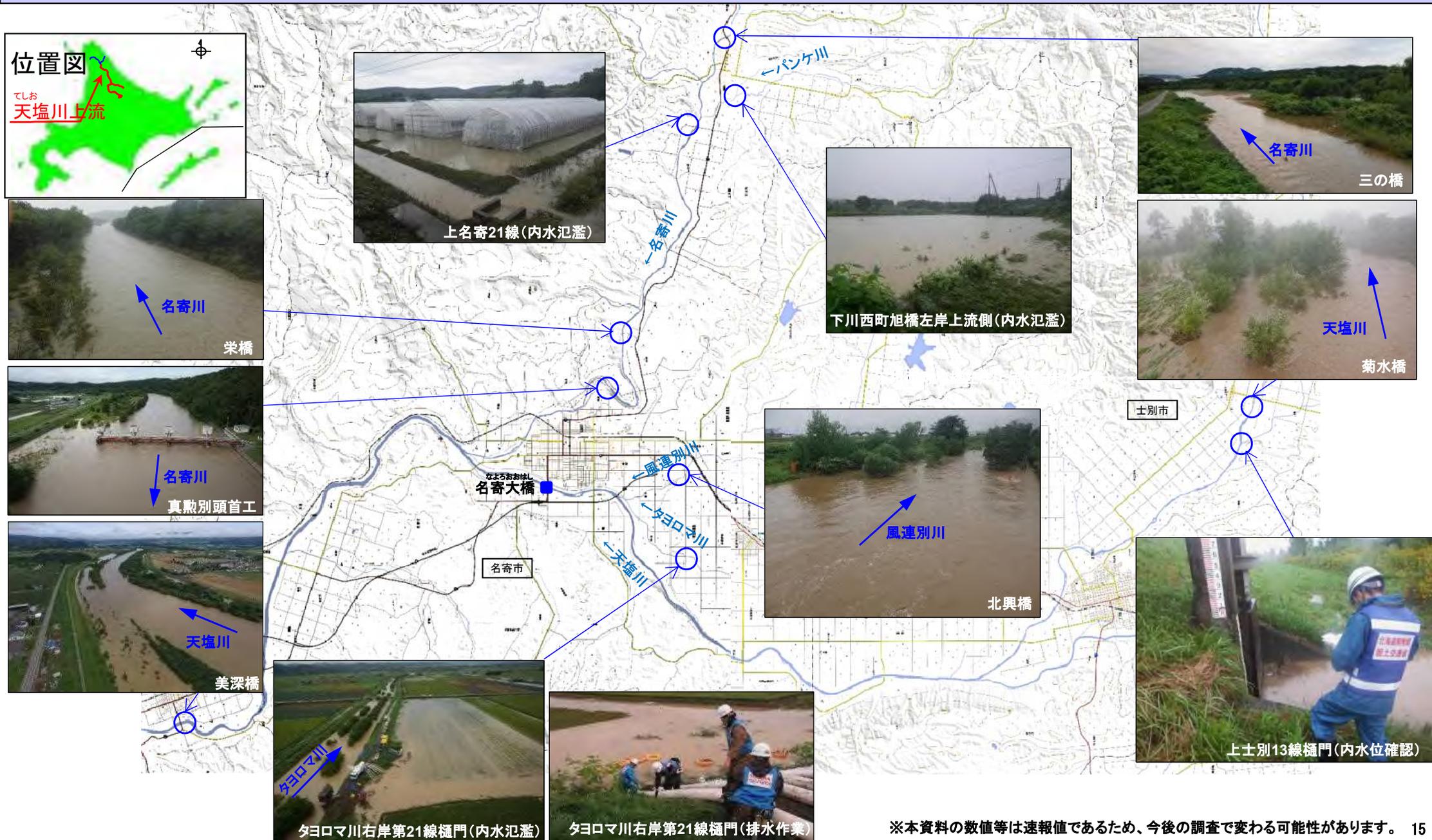


つくも
九十九橋水位観測所(天塩川)



平成28年8月20日からの大雨による出水の概要(天塩川上流 出水状況)

平成28年8月20日からの大雨により、天塩川上流管内(名寄市、音威子府村、中川町)では約20haの浸水被害が発生しました。(開発局調べ)



治水事業の効果① 河道掘削が効果を発揮(北海道 天塩川 美深大橋地点)(国管理)

天塩川上流美深地区では、河道掘削を順次進めており、現在も継続して河道掘削を実施中。

今回の出水では、これまでの河道掘削が効果を発揮し、天塩川(美深大橋付近)で約1mの水位低減効果があったと推測されます。

位置図

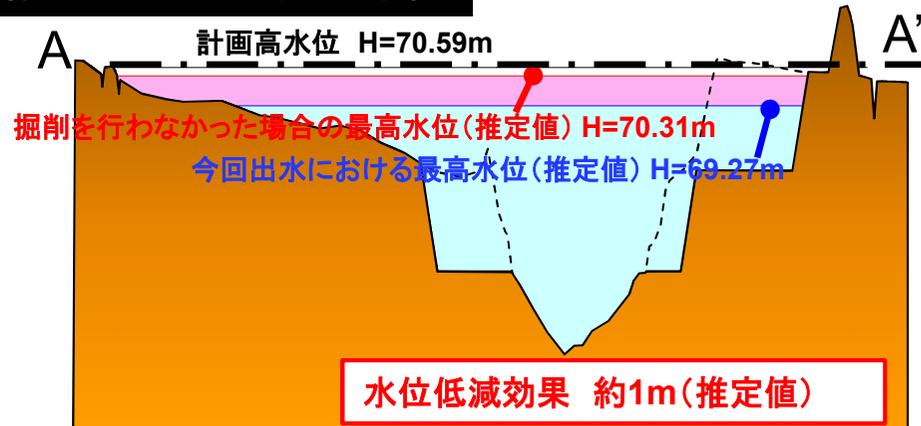


河道掘削箇所



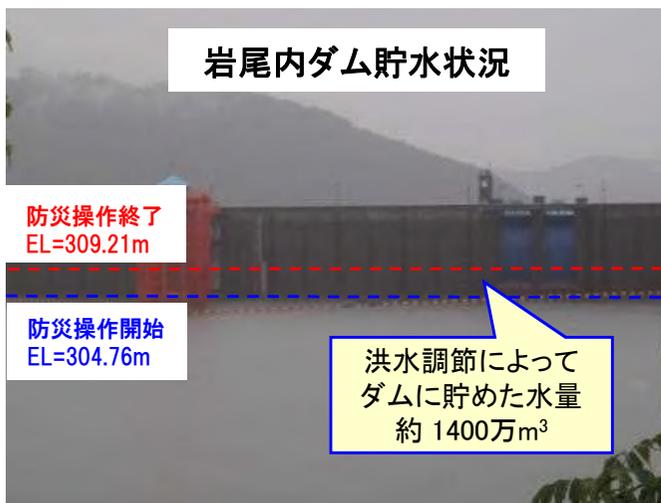
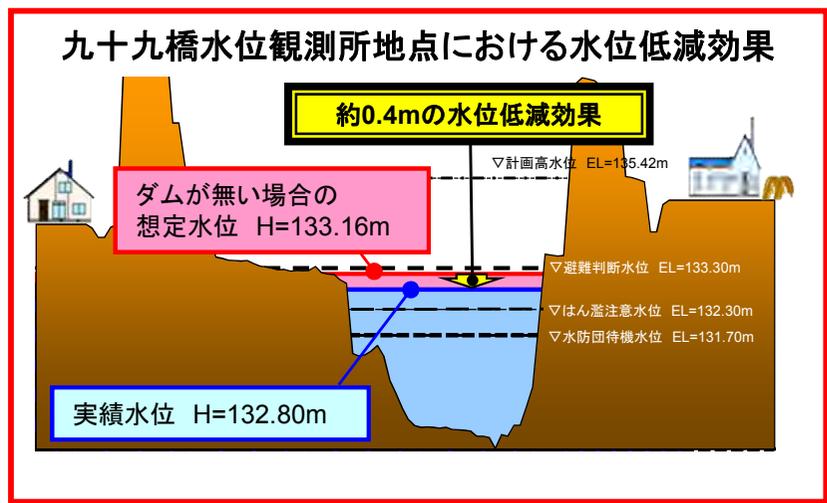
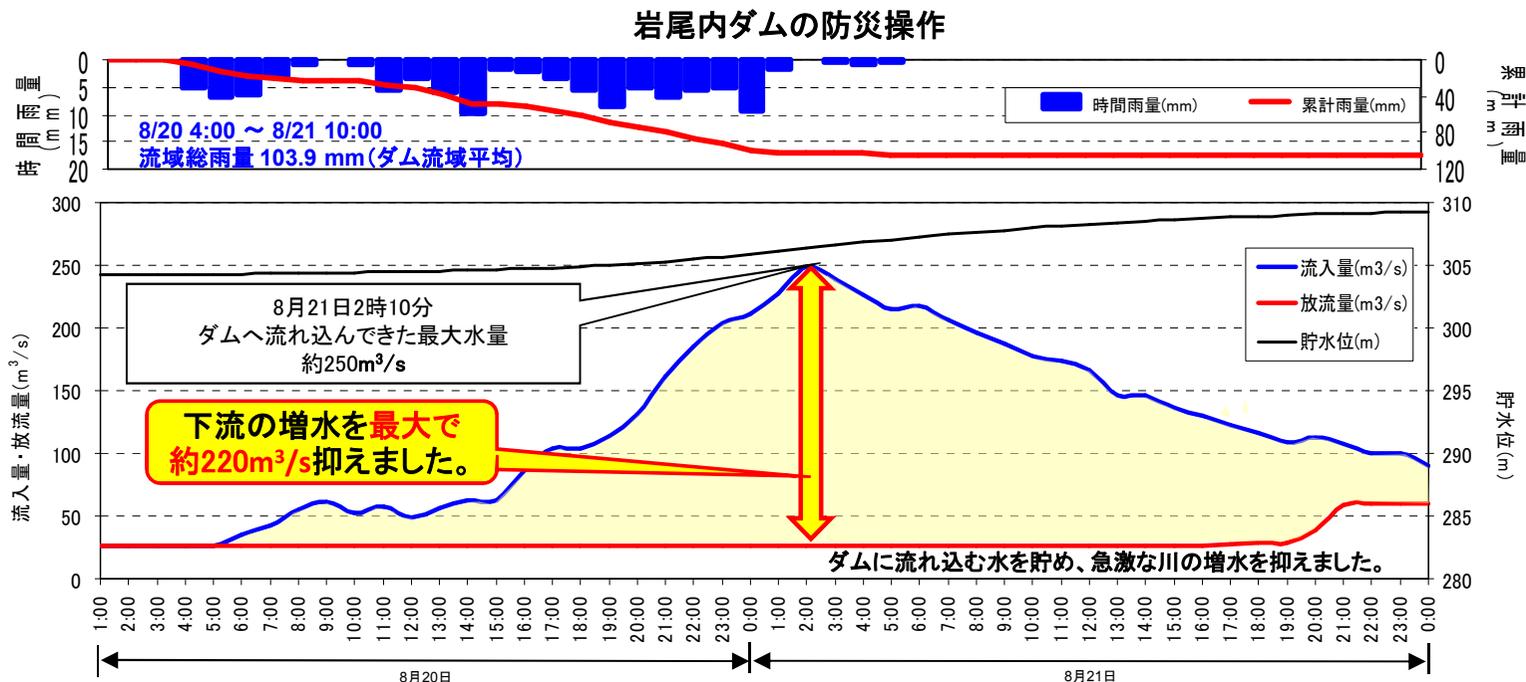
掘削による水位低減効果

美深大橋付近(KP123.6)



治水事業の効果② ダム整備が効果を発揮(北海道 岩尾内ダム)(国管理)

- 平成28年8月からの大雨により、岩尾内ダムにおいては、^{いわおない}洪水量を超える流入量を観測。
- 岩尾内ダムの洪水調節等によって下流河川の水^{しべつし}位低減を図り、下流の土別市(九十九橋水^{つくもばし}位観測所)では、水位を約0.4m低減させる効果があったものと推測されます。



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

旭川開発建設部の取組①（浸水被害軽減のための活動状況（内水排除））

平成28年8月20日からの大雨による出水により、浸水被害箇所へ排水ポンプ車（延べ9台）を派遣し、内水排除を実施。この地区の浸水被害を防止・軽減しました。



旭川開発建設部の取組②（浸水被害軽減のための活動状況（内水排除））

平成28年8月20日からの大雨により、豊栄排水機場、救急内水排水機場（内淵、旭東、美深9線、音威子府）を稼働させ、内水排除を実施。この地区の浸水被害を防止・軽減しました。

